

令和6年9月26日（木曜日）

予算決算委員会建設分科会

第5委員会室

出席委員

井上太良、重田一政、川島淳良、宮下和也、
竹尾浩司、神頭敬介、松岡廣幸、小田響子、
岡部敦吏

【建設委員会（上下水道局）の審査】

再開

11時25分

上下水道局

11時25分

送付議案説明

- ・議案第96号 令和5年度姫路市一般会計決算認定
について
- ・議案第104号 令和5年度姫路市水道事業会計決算
認定について
- ・議案第106号 令和5年度姫路市下水道事業会計決
算認定について

質疑

11時40分

（質問）

令和5年度に予算措置がなされていた事業において、決算額がゼロ円で実施時期の見直しとなっているものが多いが、前年度から計画しているにもかかわらず実施時期を見直すのはなぜなのか。

（答弁）

特に水道事業では、予算措置はしていないものの漏水で突発する修理工事がかなり多い。そのような緊急工事を実施することで予算額が不足し、当初予定していた工事の優先順位を見極めて検討した結果、次年度に回さざるを得ない場合には実施時期を見直している。

（質問）

同じく決算額がゼロ円で翌年度へ繰越しという事業もあるが、実施時期の見直しとなっている事業とどう違うのか。

（答弁）

翌年度へ繰越しとは、発注はしているものの年度内に工事が完了できないため、年度末の決算では決算額として計上せず、翌年度に決算額として計上するものである。

一方、実施時期の見直しとは、年度内に発注できず、予算の関係で優先順位を検討した結果、翌年度に実施時期を見直すというものである。

（質問）

本市における水道基幹管路の耐震適合率は兵庫県や全国の平均値を下回っているが、基幹管路の耐震適合率の向上についてどのように取り組もうと考えているのか。

（答弁）

本市では、総延長約3,000キロメートルの管路のうち、毎年、基幹管路を含め約18～20キロメートルを着実に更新しているものの、依然として基幹管路の耐震適合率は低い水準にあることから、甲山幹線をはじめとする基幹管路及び医療機関や避難所等の重要給水施設に給水する管路の更新に優先して取り組み、災害時の被害を可能な限り少なくするよう努めていきたい。

（要望）

管路の重要度や緊急性を考慮し、計画的に耐震化に取り組むことで、基幹管路の耐震適合率の一層の向上を図られたい。

（質問）

令和7年4月から水道料金を改定しようとしているが、改定しない場合は、基幹管路の耐震化にどのような影響があるのか。

（答弁）

料金改定を実施しない場合は必要な財源を十分確保できず、水道管路の計画的な更新ができないため、本改定を実施したいと考えている。

（要望）

水道施設の更新に係る状況を踏まえた適正な水道料金を設定されたい。

（質問）

下水道使用料やコミュニティ・プラント使用料、集落排水処理施設使用料の合計2,427件、638万4,589円を、時効完成を理由に欠損処理を行っているとのことだが、その不納欠損額のうち最低金額と最高金額を教えてください。

（答弁）

現時点で分からないため、調べて回答する。

（要望）

不納欠損額について委員会で詳細な質問があることは想定内だと思う。もう少し危機感を持って対応されたい。

(要望)

詳細な内訳が分かる資料を提出してもらいたい。

(答弁)

(委員会終了後、委員に資料配付)

上下水道局終了 11時53分

【建設委員会意見取りまとめ】

意見取りまとめ 11時57分

・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了 11時58分

閉会 11時58分